



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

ふれあい

第53号



編集・発行

日本赤十字社高知県支部 広報委員会

〒780-0851 高知市丸ノ内 1-7-45

総合あんしんセンター 1 階

TEL: 088-872-6295 FAX: 088-872-6299

MAIL: somu@kochi.jrc.or.jp



被災地では他機関と緊密に連携することが、多くのいのちと健康を守ることにつながる
〈令和2年7月豪雨災害（熊本県球磨村）高知赤十字病院 DMAT〉※特集は4ページ

特集 「コロナ禍のもとにおける赤十字の活動」(P.4~6)

- 令和2年7月豪雨災害 高知赤十字病院 DMAT 活動報告
- もしもの時のために ～コロナ禍のもとにおける一次救命処置～
- 新型コロナウイルス感染拡大に伴う献血ご協力のおねがい
- 新型コロナウイルスが持つ“3つの顔”を知っていますか？

その他

- 令和元年度高知県支部活動報告
- 献血バスでの検査採血が変わりました
- 2020 下半期 各種講習会のご案内
- みんなでツナグ！ハジメテ献血キャンペーン！
- 献血者の採血基準の変更について
- プレゼントクイズ



ご支援いただき、ありがとうございました。

令和元年度日本赤十字社高知県支部活動報告



近い将来発生するとされている南海トラフ地震に備え、令和元年度もさまざまな訓練を行いました。

日本赤十字社高知県支部は、「人間のいのちと健康、尊厳を守る」ことを使命として、災害時の医療救護活動や、被災者への救援物資の配布、救急法等の普及など、国内外でさまざまな人道的活動を行っております。

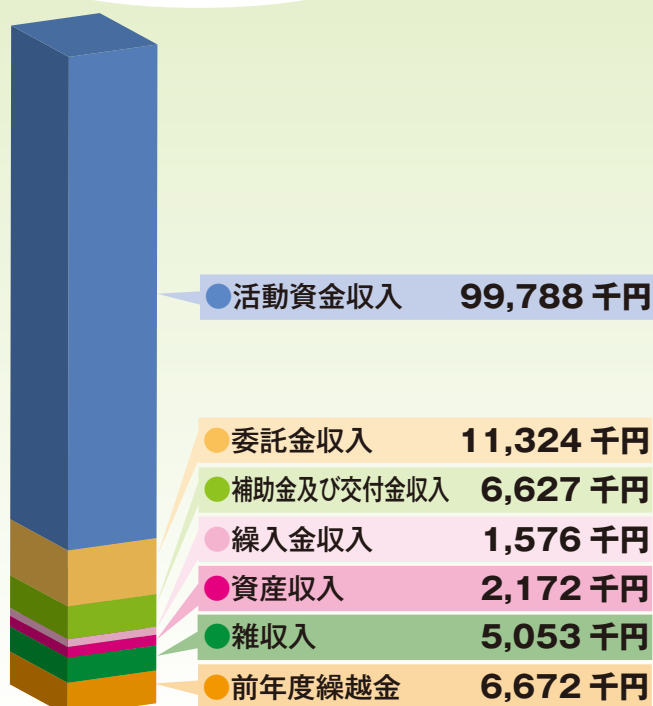
こうした赤十字活動は、国や県からの公的資金によらずに、みなさまからお寄せいただく活動資金によって支えられています。

みなさまからお寄せいただいた活動資金をもとに、令和元年度に行った活動を報告いたします。

令和元年度 歳入総額
133,214,362 円

令和元年度決算の概要

令和元年度 歳出総額
133,214,362 円



※グラフの決算額は千円未満を切り捨てているため、合計額とは一致しません。

※令和元年度決算については、高知県支部令和2年度第1回評議員会において承認されており、日本赤十字社第96回代議員会において承認されました。

県内で、国内で、海外で、みなさまからお寄せいただいたご寄付は
赤十字のさまざまな活動や救援物資の購入などにカタチを変えて、
支援を必要としている方のもとへ届きました。その一例をご紹介します。

県内で

15,540 人



一次救命処置やとっさの時の手当の方法など、
いのちを救う知識と技術を1年間で延べ15,540人
の方にお伝えしました。

国内で

3,711 人



新型コロナウイルス感染症の初期段階で、大きな話
題となった、クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセ
ス号」での集団感染。
日本赤十字社は、2月10日から3月1日までの間、
延べ142名の職員を現地に派遣し、乗員乗客3,711人
の健康の確保等に務めました。

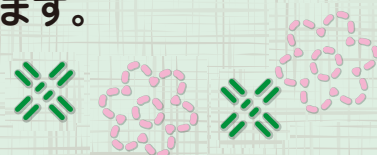
海外で

12,986 人



高知県支部は平成22年から日赤本社が行うアジア・
大洋州給水・衛生災害対応キット支援事業に参加し
ています。2019年のバングラデシュ北部の大雨で
は、この事業で整備された機材を使って、赤十字の
ボランティアが被災者12,986人を支援しました。

みなさまからのあたたかいご支援、
ありがとうございました。
日本赤十字社高知県支部は、今後も
全国の赤十字施設と連携しながら、
人道的活動を行ってまいります。
引き続きのご支援をどうぞよろしく
お願いいたします。



赤十字へのご支援は5月の赤十字運動月間のほか、年間を通じて受け付けています。
詳しくは寄付受付特設サイトをご覧ください。



特設サイトでは赤十字の活動や、みなさまの寄付で行った支援を受けた方からの
「ありがとうの声」をご紹介します。是非ご覧ください！

特設サイトはこちらからアクセスできます。
<https://donate.jrc.or.jp/lp/>

赤十字 寄付

検索



令和2年7月豪雨災害 高知赤十字病院 DMAT 活動報告

令和2年7月豪雨災害は九州地方を中心に床上浸水被害が7,000件を超えるなど、甚大な被害をもたらしました。新型コロナウイルス感染症の流行下においても、苦しんでいる人を救うために日本赤十字社の災害救護活動は行われます。今回は、DMATとして派遣された高知赤十字病院職員の活動報告をお届けします。



7月10日～12日にかけて熊本県人吉市に高知 DMAT として派遣され、活動させて頂きました。10日は人吉市内の介護老人保健施設の調査後、球磨村総合運動公園さくらドーム内指揮所にて傷病者診療と避難所サーベイランス、11～12日はさくらドーム内指揮所での傷病者診療と山間部に点在する孤立集落や孤立施設の被災状況、傷病者の把握という任務を与えられ、地域の保健師、自衛隊と活動させて頂きました。

今回の活動で看護師として感じたことは、発災から約1週間経過した環境で活動させて頂き、孤立集落や孤立施設の方々は一見落ち着いて生活されているように見えたのですが、話を聞かせて頂くと、周辺の診療所や病院から孤立した環境にあるため、慢性疾患を抱えた高齢者が診察に行けず、定期薬が少なくなり、孤立した環境での定期薬の供給や、救援物資による偏食など食事の問題をどうやって解決するか、集落内で協議されたという話も聞かせて頂き、精神面、身体面へのストレスを感じながら生活されていると感じました。また、道路が崩壊しており、通行車両の規制があるため、一般車両は通行できず、ごみ収集ができないため、身体面、精神面だけでなく、公衆衛生面での潜在的な問題が生じていると感じました。

今回の活動を振り返り、高知県も山間部が多く、発生確率が極めて高い南海トラフ巨大地震の際、孤立集落や孤立施設が生じる可能性は高く、同じように身体面、精神面や公衆衛生に関する潜在的な問題が時間の経過とともに顕在的な問題になることが想像でき、高知県でも本質的に共通の問題が生じる可能性があることを実感しました。

そうした問題解決のために、山間部に限らず都市部でも、日頃より食材や生活用品の備蓄や近隣住民との良好なコミュニケーションを心掛けて、発災時は前方支援型の医療救護体制を確立し、自助公助の必要があることを強く感じました。また、赤十字職員として、災害時、日本赤十字社の役割が発揮できるように、赤十字が培ってきた災害救護に関する知識、経験知を継続的な訓練、研修により人材育成へフィードバックする必要性を実感しました。

最後になりましたが、熊本での活動中は現地の方々より暖かい声掛けをして頂き、活動の励みになりました。被災地の皆様に心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。



もしもの時のために～コロナ禍のもとにおける一次救命処置～

「一次救命処置」は、いざというときに家族や周りにいる人がすぐに手当を行えば、救命の可能性が高くなる大切な技術です。でもそれが、現在のようにウイルスの感染が不安な状況下だったらどうすればいいのでしょうか。

今号では、今年の5月に厚生労働省より示された、「新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえた市民による救急蘇生法について（指針）」を具体的な手順を踏まえてお伝えします。

※この指針は、今後変更される場合があります。また、本記事の内容は、「赤十字救急法」の講習内容の変更をお知らせするものではありません。

基本的な考え方

心肺蘇生にはエアロゾル（ウイルスなどを含む微粒子が浮遊した空気）を発生させる可能性があるため、すべての心停止傷病者に感染の疑いがあるものとして対応します。

一次救命処置の具体的手順

- ① 周囲の観察（安全確認）
- ② 全身の観察（大出血等がないか）
- ③ 反応の確認。顔を傷病者に近づけすぎないこと。
- ④ 反応がなければ協力者を要請し、119番通報と AED の手配を依頼する。
- ⑤ 呼吸の確認。顔を傷病者に近づけすぎないこと。
- ⑥ 普段通りの呼吸がなければ胸骨圧迫。エアロゾルの飛散を防ぐため、開始前にハンカチやタオルなどを傷病者の鼻と口に被せる。マスクや衣服などでも代用可能。
- ⑦ 人工呼吸は実施せず、1分間に100～120回のテンポで胸骨圧迫を続ける（子どもへの人工呼吸は、その必要性が比較的高く、技術と意思がある場合に実施）。
- ⑧ AED が届いたら、併せて使用する。
- ⑨ 心肺蘇生を続ける。
- ⑩ 医師または救急隊に引き継ぐ（引き継いだ後は、速やかに石鹸と流水で自身の手と顔を十分に洗い、傷病者の鼻と口に被せたハンカチやタオルは直接触れないようにして廃棄することが望ましい。）

POINT

傷病者に顔を近づけすぎない。
人工呼吸ができる場合も成人では行わない。



指針は厚生労働省のホームページや右の QR コードからもご覧いただけます。

日本赤十字社高知県支部では感染防止に留意した安全な講習を実施しています



講習前の会場チェック（手指消毒液の設置や換気の確認など）や、講習開始時には留意事項の説明や、講習資材のアルコール消毒を行います。

講習中は受講者および指導員間の十分な距離を確保し、マスクを着用して実施します。



写真提供：スマイルリング（8月講習実施）

講習後には再び講習資材のアルコール消毒を行い、受講者の皆様にも手指消毒をお願いしております。

※人工呼吸は指導員のデモを含めてお伝えしていません。

※AED の使い方は指導員のデモのみお伝えしております。



講習に関するお問合せは

日本赤十字社高知県支部 事業推進課
088-872-6295 まで

日本赤十字社 講習内容

検索

動画でも一次救命処置の内容をご覧ください。





新型コロナウイルス感染拡大に伴う 献血ご協力をお願い

この度の新型コロナウイルスの感染拡大を受け、多くの人が集まるイベントの中止や大学・専門学校の休校などにより、予定していた会場での献血実施が困難となる事例が増えています。また、多くの企業が、感染拡大防止のため在宅勤務等の措置をとっており、献血協力者数が減少しております。

高知県内においても、今年度の移動採血車の稼働台数、献血者数ともに、昨年同時期と比較し減少しております。献血協力者の減少により、必要な輸血用血液の確保が困難になることが危惧されます。

献血会場では、血液センター職員、献血者ともに手指消毒や体温測定、マスク着用を行い、備品は使用毎に消毒するなど感染予防対策を徹底しております。

医療機関への安定的な血液供給のためにも、献血へのご協力をお願い申し上げます。



みんなでツナグ！ ハジメテ献血キャンペーン！



全国で献血人口が減少しており、医療社会を支える献血人口の確保に苦慮しているところです。
高知県の10代から30代(若年層)の献血者も、2010年度の「20,897人」から2019年度は「9,944人」となっており、10年間で約52.4%減少しています。

そこで、県内の献血人口の底上げを目的とし、キャンペーンを開催いたします！

献血が初めての学生・新社会人などをお誘いのうえ、ご協力いただけると非常に助かります。
単独の献血初挑戦者も大歓迎です。高知県のみんなで献血仲間を増やしていきましょう！

なお、本キャンペーンに参加される方は、冬季の献血が例年減少傾向にあるため、年明けから年度末にかけて再度献血にご協力をお願いいたします。

(※献血ルームハートピアやまももでは実施しておりません。ご注意ください。)

記念品：トミカ ボンネット献血バス【先着 500 名様】

対象：令和2年11月30日まで 以下の方に引換券を配付

- ・初めて400mL献血をされた方
(※初回の献血は64歳まで)
- ・また、上記対象者を紹介いただき一緒に献血をされた方(紹介者)

交換条件：令和3年1月1日～同年3月31日

引換券をご持参いただき、再び400mL献血にご協力ください！

(500名到達後は、けんけつちゃんグッズと交換)

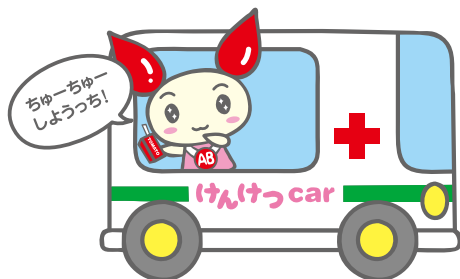
実施会場：高知県内を巡る献血バス



© TOMY 「トミカ」は株式会社タカラトミーの登録商標です

献血バスの運行スケジュールは、血液センターホームページや各保健所、市町村役場献血窓口でご確認ください。
(右記のQRコードよりアクセスできます)

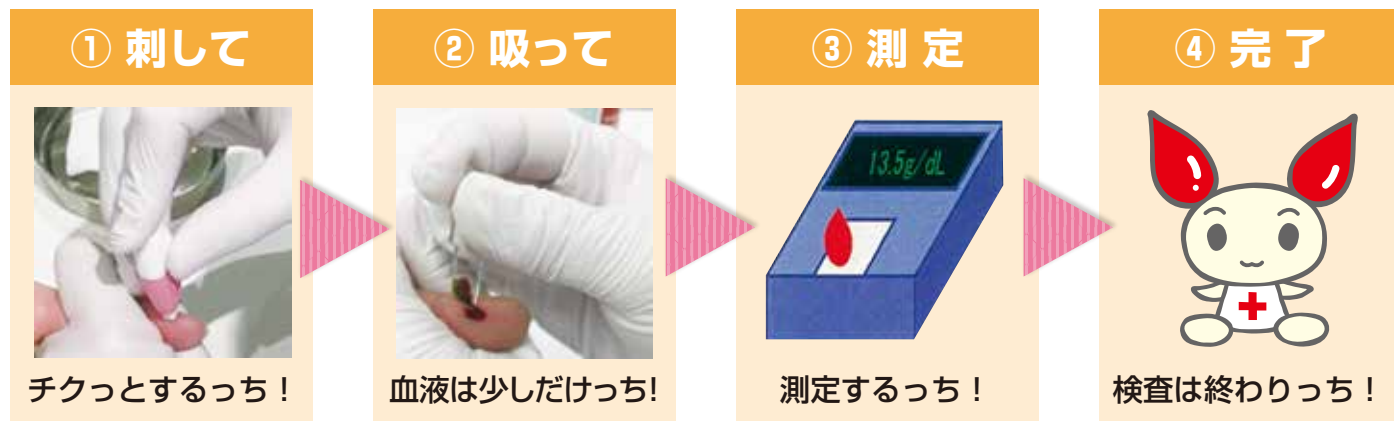




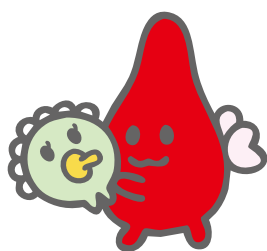
献血バスでの 検査採血が変わりました！

高知県赤十字血液センターの献血バスでは、令和2年9月より**採血前検査**の採血方法が指先から少量の血液を採取する方法に変更となりました。

採血副作用の低減を目的としたもので、世界的に多くの国で実施されている採血方法です。



※献血ルーム「ハートピアやまもも」においては、従来どおり腕の血管(静脈)から採血する方法です。



赤血球のせっちゃん

Q. なぜ検査方法が変更されるのですか？

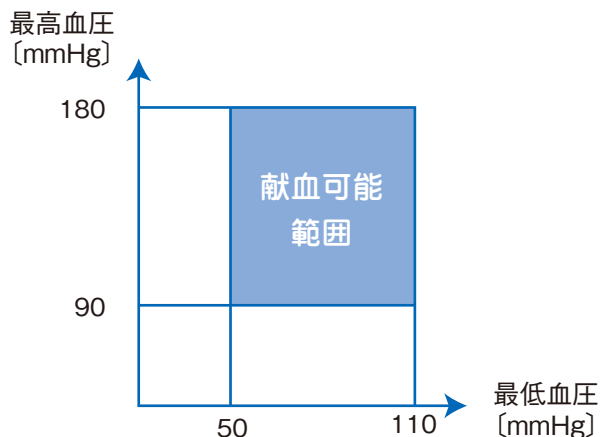
A. 指先には大きな神経はないので、献血前検査における神経損傷を無くすことができると考えられています。

また、指先での血液採取には血管の太さは関係ありませんので、これまで採血前検査での採血に苦慮されていた献血者の方の検査が容易になります。

献血者の採血基準の変更について

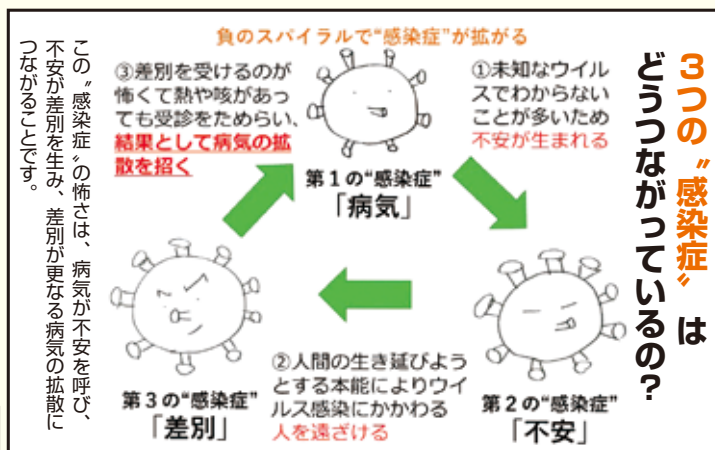
令和2年9月1日に「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律(血液法)」が改正されたため、献血にご協力いただく方の健康診断基準が新たに下記のとおり定められました。ご理解ご協力をお願いいたします。

最高血圧	： 90mmHg 以上	180mmHg 未満
最低血圧	： 50mmHg 以上	110mmHg 未満
脈 拍	： 40 回／分以上	100 回／分以下
体 温	： 37.5℃未満	



新型コロナウイルスが持つ“3つの顔”を知っていますか？

日本赤十字社では、ガイド「**新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～**」（右記）を作成しました。新型コロナウイルス感染症を正しく理解し、私たちがとるべき行動について考えてみませんか？
本ガイドは本社ホームページからダウンロードいただけます。ぜひご活用ください！



新型コロナウイルス 3つの顔

検索



学校を対象とした出前講座も実施しております。
詳しくは日本赤十字社高知県支部までお問い合わせください。

各種講習会のご案内

11月	P	災害時高齢者生活支援	14 (土)	2時間	13:00 ~ 15:00	総合あんしんセンター	153 円	どなたでも	20名
	Q	健康生活支援 短期	14 (土)	1時間30分	15:30 ~ 17:00	総合あんしんセンター	153 円	どなたでも	20名
	R	幼児安全法 短期	21 (土)	1時間30分	10:00 ~ 11:30	総合あんしんセンター	153 円	どなたでも	20名
	S	雪上安全法 救助員Ⅰ養成	28 (土)	8時間	9:00 ~ 17:00	総合あんしんセンター	700 円	18才以上 救急員有資格者	20名
12月	T	健康生活支援 短期	5 (土)	1時間30分	13:00 ~ 14:30	総合あんしんセンター	100 円	どなたでも	20名
	U	救急法 基礎	15 (火) 16 (水)	2日間	18:30 ~ 20:30	総合あんしんセンター	1,500 円	15才以上	20名
1月	V	救急法 基礎	19 (火) 20 (水)	2日間	18:30 ~ 20:30	総合あんしんセンター	1,500 円	15才以上	20名
2月	W	救急法 基礎	11 (木)	4時間	9:00 ~ 13:00	総合あんしんセンター	1,500 円	15才以上	40名
	X	健康生活支援 短期	13 (土)	1時間30分	13:00 ~ 14:30	総合あんしんセンター	100 円	どなたでも	20名

※お申し込み期限は、原則として各講習日の1週間前といたします。

※ご希望の講習会が最少開催人数（5名）に達しない場合には、やむを得ず中止にさせていただきます。

講習会に関するお問い合わせ・お申し込みについては
お電話（088-872-6295）またはホームページより

日本赤十字社高知県支部

検索



プレゼントクイズ

今年の5月に厚生労働省より示された「新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえた市民による心肺蘇生法について（指針）」において、一次救命処置の内容のうち成人に対して行わないものは次のうちどれでしょうか。

（1）胸骨圧迫 （2）人工呼吸 （3）AED を用いた除細動

応募方法：① お名前 ② ご住所 ③ 年齢 ④ プレゼントクイズの答え ⑤ 今号のご感想についてご記入の上、下記宛先まで **郵送またはメールで2021年1月29日(金)までに** **ご応募ください。**※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

宛先：〒780-0850 高知市丸の内 1-7-45 総合あんしんセンター1階
日本赤十字社高知県支部「ふれあい」プレゼント係
メールアドレス：somu@kochi.jrc.or.jp

ハローキティ×けんけつ
ちゃん×くろくま ハンド
タオルを **5名様**に
プレゼント！



前号（ふれあい52号）の答え ② ぼうさい

※お寄せいただいた個人情報は、個人情報に関する法令を遵守の上、厳正に管理します。なお、日本赤十字社からの各種ご案内を送付する等の目的で使用する場合がございます。
・個人情報の取扱いの詳細はこちら <http://www.jrc.or.jp/privacy/>